

～暗所における「見え方実験」レポート～

主催：堺市消防局(大阪府・政令指定都市 人口：約83万人) 協力：エルティアイ株式会社
実験場所：堺市消防局 庁舎内、講堂及び階段

【実験のご説明】

2010年7月5日、堺市消防局(大阪府・政令指定都市)において、高輝度蓄光式誘導標識「 α -FLASH(HP-012号仕様)」及び高輝度蓄光テープ「 α -FLASH 009」を使用し、「暗所における見え方実験」が行われました。

実験には、大阪府下南部の各市の消防署のご担当者が多数参加されました。

以下の写真は、堺市消防局様が撮影されたものや当社スタッフの撮影によるものです。

※詳細につきましては、まとめ次第掲載させていただきます。



堺市消防局 外観



階段室 / 実験に参加された消防署員の皆様



扉の隙間にビニールを貼り漏れる光を遮断



実験前の様子(講堂)

《明所》



標識だけを壁面に設置した階

《暗所①》

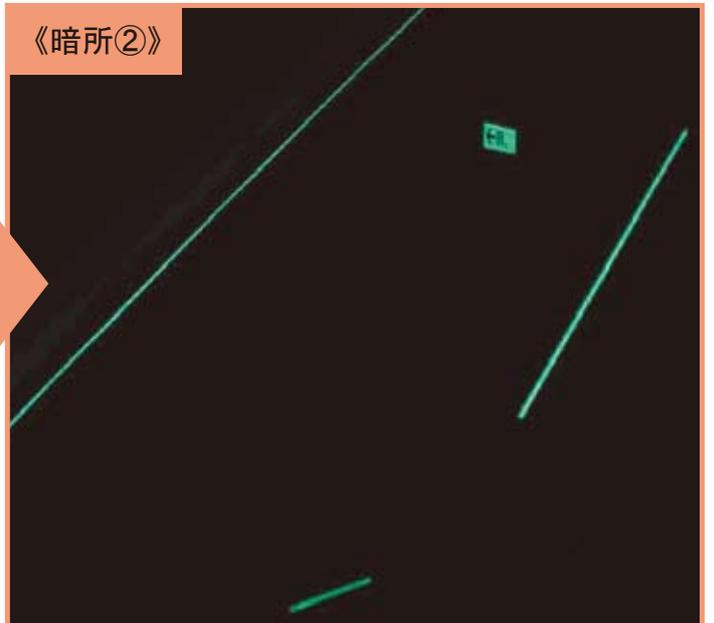


《明所》



手すりには蓄光テープ、壁面には標識を設置した階

《暗所②》

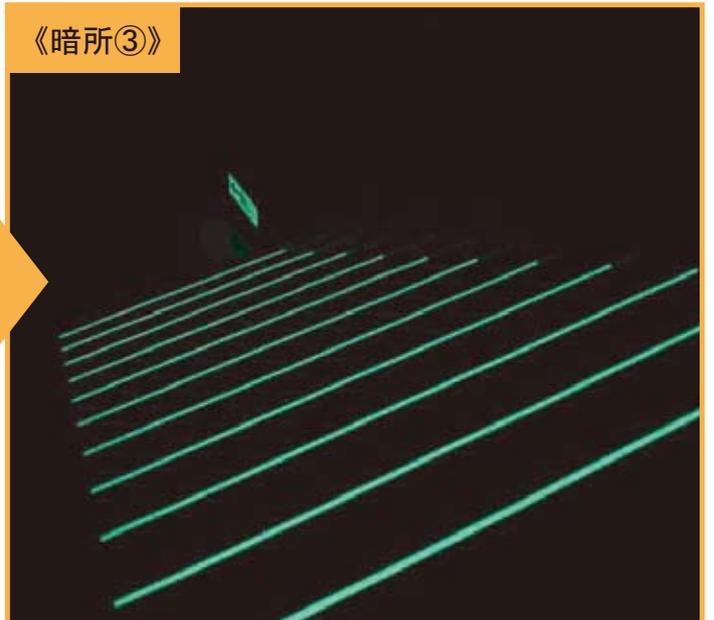


《明所》



階段には蓄光テープ、壁面には標識を設置した階

《暗所③》



* 写真《暗所①、②、③》の中で、安全に早く避難できるのはどれだと思われますか？



実験前(講堂)



現場照度測定(54ルクス)

《暗所④》



壁面に標識だけ貼り付けました

《暗所⑤》



壁面に蓄光テープと標識を貼り付けました

《明所》



《参考写真》手すり部分

《暗所》



* 写真《暗所④、⑤》の中で、安全に早く避難できるのはどちらだと思われますか？